

らしい踊りや元気のよい歌などを見聞きし、写真を撮ったり、盛んに拍手を送っていました。

最後に、感謝の気持ちを込めて、子どもたちひとりひとりと握手し抱き合いながらプレゼントを手渡し、互いに笑顔で交流を深めました。



お菓子作りに児童を招待

洞爺高校生

十二月十四日、午後四時ごろから洞爺高校（望月憲夫校長）では、放課後のひとときを、学童保育に通うとうや児童クラブの子どもたち六人を初めて高校に招き、同校三年の生徒たちとの交流を深めました。

同校三年の四人の生徒は、課題研究で「学童保育」をテ

ーマに学習しており、この日は子ども好きな生徒や先生たちに手伝ってもらい、子どもたちから要望のあったクッキーを自ら工夫して準備したレシピをもとに作りました。

生徒たちは、すでに数回、お菓子を持って学童保育所を訪れているため互いに顔見知りで、子どもたちは生徒に教えてもらいながら、楽しくクッキーを作り、いろいろな形に焼き上がったおいしいクッキーに歓声を上げて喜んでいました。



高校生といっしょにクッキーを作る子どもたち

国際交流協会クリスマス会開く

平成十七年十二月十八日、

洞爺村国際交流協会（五十嵐優子会長）では、日頃から交流のある四十名ほどの皆さんが集い、英国ボランティア青年のライアンさんとステファンさんを囲み、一足早いクリスマス会を行い、楽しいひとときを過ごしました。

午後六時、会長の「楽しいクリスマス会にしましょう」

との挨拶の後、サンタに扮した会員からボランティアの二人にプレゼントがあり、二人から東京から来村したボランティア青年の紹介がありました。

英会話教室や保育所、学校等で交流している会員や親子連れの皆さんは、それぞれが持ち寄った自慢の手作り料理を食べたり、みんなでクリスマスソングを歌い、ゲームで景品を当てるなど、一夜を楽しんでいました。



会員が持ち寄った料理をバイキング方式で楽しむ